

# 消えない舞台の残像

—『オペラ座の怪人』を福岡シティ劇場で—

中嶋嶺雄 Minco Nakajima



『オペラ座の怪人』ピアノジ:半場俊一郎/カルロツタ:河合和代 撮影:山之上雅信

## 音

楽好きの私にとって、劇団四季のレパトリーのなかでかねてから観てみたい、聴いてみたいと思っていた作品が『オペラ座の怪人』であった。その『オペラ座の怪人』は七年前に福岡シティ劇場のオーブニングを飾ってロングランの大成功をもたらし、劇団四季の九州拠点化が実現したと聞いていたので、ぜひ福岡でと書いていたところ、去る八月二十六日にそれが叶うこととなった。

丁度その日からファントム(怪人)役には高井治氏、クリスティヌは五東由衣さん、ラウル子爵は鈴木涼太氏というキャストイングであったが、カルロツタ役がピツタリだった河合和代さんはもとより、全員が実に素晴らしい舞台回りであった。

最後の場面では、オペラ座の地下にあるという湖へ舟が漕ぎ出す場面にドライアイスを使って幻想的な雰囲気を出していたが、いささかあっけないくらいに自然に進行して、少しも仰々しくなかったのが、とてもよかった。

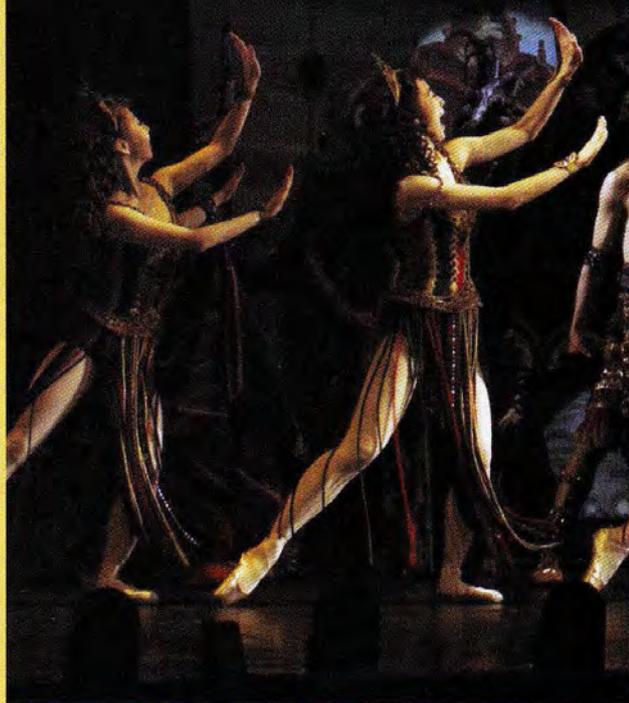
そもそもガストン・ルールの原作「オペラ座の怪人」を長島良三氏の名訳(角川文庫)で読むと、次のような文章に出くわして、なる

ほどと思う。「苦痛を喜びの仮面で隠し、内心の喜びを悲しみや倦怠や無感心のマスクでおおうことのできない者は、パリジャンと呼ばれる資格がない。」「パリの人たちはいつも仮面舞踏会をやっているようなものだったから、……内心の悲しみを顔に出すようなへまをやるわけがない。」

## 原

作は、いわば恋の喜びと悲しみというのだから、心から人を愛することの怖さというのだろうか、さまざまな葛藤や人生模様の心のひだを一つ一つ縫い合わせるように微細に描かれているのだが、さすがにミュージカルの演出者ハロルド・プリンスは原作を巧みに再構成し、捨てるべきところは捨てて、全体をこれこそ見事な「仮面舞踏会」に仕立て上げている。その日本語バージョンが浅利慶太版『オペラ座の怪人』なのだが、ここに至ってこのミュージカルは完璧になったといつてよいであろう。

このような成果が達成されたもう一つの、そして決定的な要因は、全編に流れるアンドリュ・ロイド・ウェバーの素晴らしい音楽とその音楽効果である。とくに大団円の手前で、官能的にも本当



オペラ座の怪人:高井 治/クリスティーン:五東由衣

に美しく艶やかなクリスティーンをめぐってファントムとラウルが恋の凌ぎを削る場面の盛り上がりなどは、「私を選ぶか、こいつを選ぶか」とファントムのそれまでの複雑な心が結局はこのような単純な言葉になって集約されるところに、人生と人間の切なさが漂い、身につまされてしまう。

と

ところで、私自身のことを語らせていただくと、高校生時代からシャンソンに惹かれてフランス語を始め、

そのフランス語で大学も受験し、やがて現代中国を研究するようになってからもフランスのシノロジー(中国学)の面々と水い交流を続け、パリ政治学院の客員教授として滞在したことなどもあって、今も私はサンジェルマン・デ・プレ界隈からオペラ座の周辺を外国での私の一貫した拠点にしている。その私に最も好きなシャンソンは「パリの心(Coeur de Paris)」(ルネ・ルヴォー詞/ジャン・ウィエ

ネ曲)のだが、このシャンソンがテーマであった映画がどうしても探し出せないでいる。しかし、このシャンソンはリフレイン(繰り返しの)のところ「パリの心臓よ お前は誰のために搏つか?」と問い、「愛し合う人のためにお前は搏つ、しばしば傷つくけれども」と答えている。私は、あらゆるハンデイキャップを越えて強引にもクリスティーン的心をついに射止めたファントムにこそ、パリの心臓は搏ち続けてほしいと思う。

な

お「オペラ座の怪人」の原題は Le Fantôme de l'Opéraなので、パリの人々は「オペラ座の幽霊」といつており、それを「怪人」としたのはさすがだと感心する一方、原作をたどれば、たとえば「五番ボックス席」の場面のように、「幽霊」のほうがより適当だと思われる場合もあるように私には思われた。

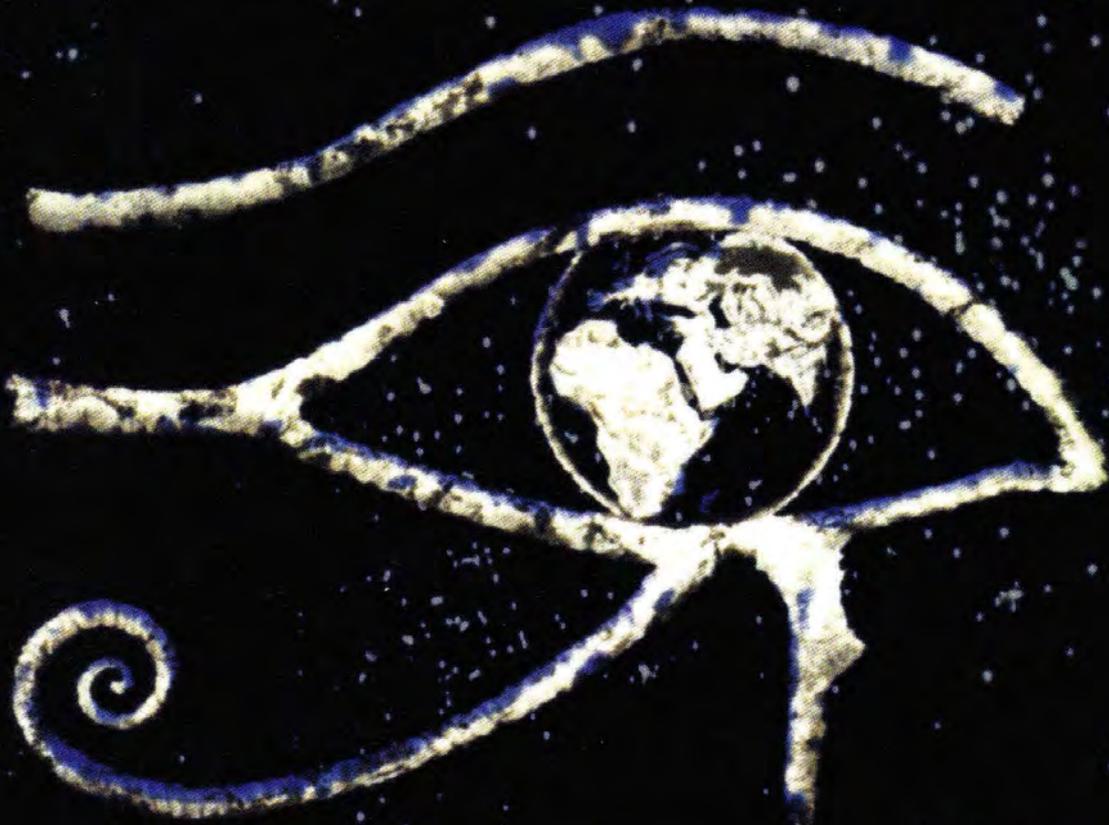
なかじまみねお、国際社会学者、北九州市立大学大学院教授。前東京外国語大学学長。二〇〇四年四月に秋田県が開学する国際教養大学学長予定者。著書に「現代中国論」「北京烈烈(サントリー学芸賞受賞)」「国際関係論」など。松本音楽院第一期生として鈴木鎮一氏にヴァイオリンを学び、現在、才能教育研究会常務理事・グランドコンサート大会委員長。

# LaHarpe

ラ・アルプ

# 10

2003  
OCTOBER  
vol.222



ELTON JOHN  
& TIM RICE'S



# アイーダ

Disney's ミュージカル

## 『アイーダ』今月発売!